たくさんのメディアにも取り上げていただいております。

Media 03

高成長、驚きのうま味と甘み

●みなと新聞 2012年8月24日

誕生 極上かんぱち 上

抜群の漁場環境 餌で価値決める

【鹿児島】鹿児島県大隅半島南部の根占（ねじめ）漁場。湾り間がやみ、対岸の開聞岳を背に大きな虹が浮かぶ。この錦江湾の出入り口付近で、小浜水産（垂水市、小浜秀則社長）グループの丸秀水産（南大隅町、小浜洋志代表）はカンパチなどを育てる。太平洋を北上する黒潮が流れ込む好条件。同社は海の恵みを生かしながら、カンパチの高付加価値化と生産合理化の両立を実現した。洋志氏が快活に笑う。「養殖をすごい産業にしたい。それこそすごいビルが建つぐらい」

根占漁場の長所を指摘する小浜洋志氏。魅力に魅せられ、自宅から1時間以上かけて毎日通う

高成長、驚きのうま味と甘み

小浜水産 新たな生産モデル構築

根占漁場はきれいな水質で知られる。水深が深く、冬でも水温が高い。九州最南端の佐多岬にぶつかった黒潮がわれ先に流れ込んでくる。その黒潮は屋久島周辺から豊富なミネラルを運んでくると分析する養殖関係者もいる。海に面した陸は緑深い切り立った山々。山頂付近の20㍍の風車が浜風を受けて回転する。

この養殖に適した自然環境下、カンパチの一段の差別化の決め手となったのが餌だ。アプロジャパン（大阪市、白石俊訓社長）の高エネルギー魚粉（タンパク質65％）を生餌に混ぜて与えたところ、カンパチが従来よりすくすく大きく育つようになった。しかも健康体に育ち、へい死が激減したという。

餌やりの回数を減らしても目に見えて成長が速くなったと、洋志氏は太鼓判を押す。8月初旬現在、1尾4㌔前後まで成長。従来より400～500㌘大きいという。

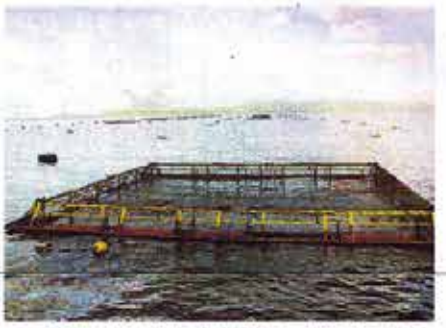
ビタプレシリーズで育てたカンパチはもう一つ魅力がある。それは食べた時に実感する。プリなどと比べコリコリとした食感が楽しめる一方、味はほとんどない―というのがこれまでのカンパチの一般的な評価。しかし、ビタプレを与えたカンパチはうま味、甘みが存分にある。特有の臭みが感じられないのも驚きだ。

給餌減らすも 魚の成長速く

成長が速くておいしい魚。しかも生産コストを抑えられる―。同社は力ンパチの新たな生産モデルを構築した。カンパチマーケットがガラッと変わる可能性が出てきた。

同社と小浜水産、川崎水産のグループ3社は計70基のイケスを所有。今期はグループ全体でカンパチ約20万尾の出荷を計画する。ヒラマサと3年生ブリを合わせると25万尾前後の出荷計画だ。カンパチは「極上かんぱち」と銘打ち、今月上旬に初出荷した。

（連載・下は9月上旬掲載予定）



錦江湾に注ぎ込む黒潮が真っ先にぶつかる根占漁場